

# 功労賞 個人8名と2団体を表彰

グループわの平成30年度功労賞に選ばれた個人8名・団体2グループが第15回定期総会で表彰されました。表彰式には選ばれた個人8名とグループ代表2名の計10名全員が出席。水町理事長から「長年にわたってボランティア活動に励み、グループわの発展に貢献されました」と感謝の言葉があり、表彰状と副賞が手渡されました。その後、皆さんの活動ぶりがパワーポイントで紹介されました。紙面の都合により、受賞者の言葉を今号と次号に分けて掲載します。



## 受賞された皆さま（順不同、敬称略）

- 会員表彰**
- ①坪井 幸子（生環 3期）
  - ②中村 吉宏（国際 5期）
  - ③森 佳代子（生環 6期）
  - ④西尾 孟三（生環 7期）
  - ⑤佐伯 義昭（国際 8期）
  - ⑥長谷川 博（生環 9期）
  - ⑦土井 昭政（国際 10期）
  - ⑧山田 淑子（食文 10期）

- グループ表彰**
- ①神戸ぴかぴか隊（代表：新葉 薫）
  - ②書道部（代表：横田 忠男）

## 人々とのつながりに感謝して

生環6期 森 佳代子

平成11年、カレッジ在学中に先輩よりCo2吸収が他の植物より数倍多いと言われているケナフの栽培を依頼され、6期の仲間達とケナフクラブを立ち上げました。ケナフ表皮を使った紙すきでは中学生、小学生、幼稚園児に指導し、大変喜ばれて逆に元気を頂いています。

平成16年、いかり作業所より紙すき指導依頼があり、お手伝いをするようになりました。押花でのシール作りやその他作業の手伝いをして、元気とよろこびを頂いております。



## ビオトープの今後を見守りたい

生環3期 坪井 幸子

ビオトープの会が発足した頃の若い樹木も成長し、作業後の私達の寛ぎ空間に緑陰を作っています。山野草はチガヤ・外来植物から守らねば昆虫の多様性もかなわず、池の中も水生昆虫やメダカの増加を目指し、ザリガニ退治にアイデア全開という賑やかな活動を、春夏秋冬、自然の中で楽しんでおります。

これは近年の卒業生の強力な参加で、活動がさらに活性化したからです。これまで多くの方が活動され、去って行かれたビオトープの今後を、今暫く見守らせてください。



## 学ぶことが多い訪問活動

食文10期 山田 淑子

カレッジ在学中から大正琴プリムラ、卒業してから絵手紙と、先輩が立ち上げられてきたボランティアをこつこつと無理なくやってきました。

訪問先では、私たちが反対に学ぶことが多いと感じます。懐かしい歌に涙される方、大きな声で楽しそうに歌われる方、時にはその頃はこうだったと昔話をされる方等、いろいろです。次回を楽しみに待っているよとの言葉にボランティアを続けていて良かったと思います。これまで続けられたのは、部全員の「和」「輪」「協力」があってこそです。



## 印象に残る車椅子テニスと特別支援

国際10期 土井 昭正

平成18年3月にシルバーカレッジを卒業。グループわに入会し、その後国際部会、北区会などで種々のボランティア活動をしてきましたが、印象に残るのは、車椅子テニス大会と小学校の特別支援です。いずれの場合も障害がある方へのボランティアで、皆様に何らかのお手伝いをする事で大いに生きがいと喜びを感じました。

とくに児童と接することは、将来の若者の考え方や行動を知ることが出来、楽しくまた勉強になります。私は、今年80歳になりましたが、引きつづき同様のボランティアとグループわのボランティア活動を続けたいと思っています。

